



抗議文

プーチン大統領のたび重なる 核脅迫発言に断固抗議する



新宿での抗議行動でロシアのウクライナ侵略に対する抗議の寄せ書きを集め、ロシア大使館へ届けました。

あなたの声を ロシア大使館に

日本原水協は、核兵器禁止条約第1回締約国会議、第10回NPT再検討会議でも、NGOセッションで発言し、つよく核兵器廃絶を訴えています。「被爆者とともに核兵器のない平和で公正な世界」を実現するために、ご一緒に声を上げましょう。



ロシア連邦大統領
ウラジーミル・プーチン殿

貴職は、9月21日、ロシア国民向けのテレビ演説で、NATO加盟国に対して「ロシア領土の保全が脅威にさらされれば、われわれは、手持ちの全ての兵器を使う」「はったりではない」と述べ、再び核脅迫をおこないました。断固抗議します。

核兵器の使用がもたらすものは、広島と長崎への原爆投下が示しているように、大量破壊と非人道的な破滅的結末しかありません。核兵器は、人間として死ぬことも、人間らしく生きること許さない、「絶滅」だけを目的とした「絶対悪」の兵器であり、その保有も使用も許されません。

貴職の発言は、平和と人類の生存に対する重大な挑戦であり、国連憲章とそれに基づく平和のルール、核兵器廃絶にかかわる国際合意を踏みにじるものです。

主権国家に対する侵略と領土拡張は国連憲章が禁ずる明白な違反行為にほかなりません。ウクライナへの侵略を停止し、ロシア軍は即時撤退すべきです。

被爆国の運動として強く抗議し、国連憲章の順守と紛争の平和解決、核兵器の全面的廃絶のために誠実に行動するよう強く要求します。

2022年9月22日
原水爆禁止日本協議会

国連認証 NGO：原水爆禁止日本協議会（日本原水協）